

平成22年度

事務事業評価表(平成21年度の実績評価)

記入年月日
平成 22 年 4 月 14 日

事務事業名		水泳教室事業				区分		事務事業No.	33135029	
						<input type="checkbox"/> 分野別主要事業 <input type="checkbox"/> 未来プロジェクト事業		課内No.	29	
		政策体系上の位置付け				<input type="checkbox"/> 市長マニフェスト事業 <input type="checkbox"/> 合併建設計画事業		事務事業主管課		
政策体系	行政評価施策名	19	スポーツ活動の振興			<input type="checkbox"/> 新規事業 <input checked="" type="checkbox"/> 継続事業 <input checked="" type="checkbox"/> 単独事業 <input type="checkbox"/> 補助事業		所属部	教育委員会	
	政策名	3	豊かな心と生きがいを育む教育・文化環境づくり					所属課	スポーツ振興課	35
	施策名	3	スポーツの活動の振興					課長名	細谷 重男	
	基本事業名	1	生涯スポーツ社会の実現					所属係	スポーツ施設管理係	
		財務会計上の位置付け				事業期間		担当者名	酒井 正志	
予算科目	会計	款	項	目	事業	一般会計		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し (平成4年度～)		
	1	10	6	2	1	体育館管理事業(岩)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～年度)		
法令根拠	スポーツ振興法									

[Do] 1. 事務事業の現状把握 ▶ 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入

事務事業の概要(事務事業の内容、担当者が行う業務の内容、手順、事業費の内訳等。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

- ・市民が水泳を通して健康で明るい生活を送れるよう水泳教室を開催する。健康意識の向上を図る。水泳運動に関心を持ち、正しい方法で水泳ができるように支援する。
- ・年2回開催。夏休み水泳教室(前期)(午前・午後、2コース 全36回)。冬季水泳教室(後期)(午前・午後2コース 全28回)
- ・水泳教室受講料:無料(プール使用料は個人負担)
- (職員の業務)
- ・参加者募集、参加者の取りまとめ、講師の選定
- (事業費の内容)
- ・報償費(講師謝礼)

(1) 事務事業の目的

①手段(21年度 実際に行った主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	単位
・夏休み教室(前期)2コース開催(7月28日～8月28日) 参加者:小学生54名参加 ・冬季水泳教室(後期)2コース開催(11月15日～3月21日) 参加者:小学生30名参加	ア 水泳教室開催事業	回
	イ	
	ウ	
	エ	
②対象(誰、何を対象にしているのか)	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
市民	ア 常住人口(10/1)	人
	イ	
	ウ	
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	単位
・水中運動に関心を持ち、正しい方法で水泳ができるようにする。 ・水泳を通じて、健康意識を図る。	ア 水泳教室参加人数	人
	イ	
	ウ	
④結果(どんな結果に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
スポーツを通じて健康で明るい豊かな生活を送る。	ア スポーツを通じて健康で明るい豊かな生活を送れていると実感できた人の割合	%
	イ	
	ウ	

(2) 指標値の推移

区分	単位	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (計画)	23年度 (目標)
⑤活動指標	ア 回	72	68	70	45	50	50
	イ						
	ウ						
⑥対象指標	ア 人	47,997	47,590	47,058	46,575		
	イ						
	ウ						
⑦成果指標	ア 人	808	894	1,020	1,022	1,100	1,100
	イ						
	ウ						
⑧上位成果指標	ア %		59.10	64.60	66.70		
	イ						
	ウ						

(3) 投入量(事業費)の推移

区分		単位	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	期間限定 総投入量
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
	一般財源	千円	756	666	706	680	571	571	
	事業費計(A)	千円	756	666	706	680	571	571	0
人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1	
	延べ業務時間	時間	16	16	16	16	16	16	
	人件費計(B)	千円	48	47	47	47	47	47	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	804	713	753	727	618	618	

(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

平成4年から水泳の初心者を対象に、技術の向上、水泳による健康増進を図ることを目的に実施。

(5) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

水泳教室受講終了後、サークル活動に(自主講座)へ入会する者もいる。

事務事業名	水泳教室事業	事務事業No.	33135029	所属課	スポーツ振興課
-------	--------	---------	----------	-----	---------

【See】 2. 評価の部 * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

評価項目	
目的 妥当性	<p>① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)</p> <p>水泳を通じて、健康意識の向上を図り、水中運動に関心を持ち、正しい方法で水泳ができるようになるという意図は、健康意識が高まり、技術の向上を図ることができるという結果に結びつく。</p> <p><input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている</p>
	<p>② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?)</p> <p>水泳教室に参加する人からも受講料を徴収していくべきが、市で水泳教室を開く必要があるかについて、検討が必要である。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当である</p>
	<p>③ 対象・意図の妥当性 (対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?)</p> <p>対象が市民であり妥当である。水泳を通じて、健康意識の向上を図り、また水中運動に関心を持ち、正しい方法で水泳ができるようになるという意図は、水泳教室を開催する趣旨があるので、妥当である。</p> <p><input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である</p>
有効性	<p>④ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)</p> <p>コースによって参加人数が少ないので参加者の拡充を図る。水泳による健康への効果についても広報・啓発をしていかなければならない。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない</p>
	<p>⑤ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)</p> <p>自主講座(サークル)があるので休止しても影響がないと思われる。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 影響無 <input type="checkbox"/> 影響有</p>
	<p>⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか?(市以外の取り組みも含む))</p> <p>他に手段がある <input checked="" type="checkbox"/> ⇒ 具体的な手段、事務事業名 他に手段がない <input type="checkbox"/> 自主講座(サークル)があるので統廃合ができる。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる</p>
効率性	<p>⑦ 事業費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など))</p> <p>水泳教室講師謝礼を検討し、事業費の削減を図る。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない</p>
	<p>⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 (やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?)</p> <p>指定管理者制度の導入で事業費の削減を図る。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない</p>
公平性	<p>⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)</p> <p>自主講座(サークル)で活動している人は有料、水泳教室受講者(入場料のみ有料)との不公平感がある。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 公正・公平である</p>

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

<p>(1) 1次評価者としての評価結果</p> <p>① 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</p>	<p>(2) 全体総括(振り返り、反省点)</p> <p>・自主講座(サークル)活動(有料)をしていく人もいるので、水泳教室に参加する人からも受講料を徴収していくべきか、市で水泳教室(無料)を開催する必要があるかについて、検討する必要がある。</p>																					
<p>(3) 今後の事業の方向性</p> <p><input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → (複数回答可) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 公平性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる</p>	<p>(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持			×																		
	低下		×	×																		
<p>(3)-1 改革改善策</p> <p>・自主講座(サークル)活動(有料)をしていく人もいるので、水泳教室に参加する人からも受講料を徴収していくべきか、市で水泳教室(無料)を開催する必要があるかについて、検討する必要がある。</p>																						
<p>(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p> <p>・水泳教室のあり方について、もう一度検証する。(費用負担・参加者の人数について) ・水泳教室に参加する人の費用負担、受益者負担の公平性が確保される。</p>																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

<p>(1) 課長評価</p> <p>課長確認後の評価</p> <p>B A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出</p>	<p>(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)</p> <p>確認欄</p> <p>未</p>
<p>(3) 2次評価における改革改善案</p>	<p>(4) 2次評価における指摘事項</p>